

新型コロナウイルス感染症とタバコについて



新型コロナウイルス感染症は、肺・呼吸器に影響する病気で、重症例や死亡例の多くで、肺炎を合併しています。昨年のある調査では、非喫煙者で重症化した人の割合は17%だったのに対し、喫煙者(喫煙歴のある人を含む)は30%が重症化していました。また他の研究では、喫煙者は、人工呼吸器が装着される、あるいは死亡する危険性が、非喫煙者の3倍以上になることが明らかになりました。年齢や基礎疾患と比べても、喫煙は重症化の最大のリスクであることが報告されています。

重症化しやすい理由として、

- ① タバコをすうと、気管支の粘膜が傷つけられ、感染に対して防御する力が低下すること
- ② タバコには50種類以上の発がん性物質が含まれており、それらの物質は肺に取り込まれ、肺の組織を破壊し、肺機能を低下させること
- ③ 新型コロナウイルスは、球状のウイルスにとげとげの突起がある形状をしているが、このウイルスの突起が肺の細胞の表面のくぼみ(ACE2受容体)にはまり込み、これを足がかりにして肺の細胞内に侵入し、感染が成立することがわかっている。
タバコをすうほど、肺の細胞のくぼみ(ACE2受容体)が増えることも証明されており、新型コロナウイルスがより多く肺に侵入すると考えられる。



などが挙げられます。

その他、

- ・受動喫煙は、喫煙者が吸い込む煙と同じくらいの健康被害を引き起こします。つまり、あなたがタバコをすうことで、周りの人の感染リスク・重症化リスクが上がります。
- ・3密(「密閉」「密集」「密接」)の喫煙室は濃厚接触の場です。
マスクをせずに2メートル以内の距離で感染者と数分間過ごすことは、濃厚接触にあたります。



あなた自身と家族、周りの人を守るため、ぜひこの機会に卒煙を！